



茨城

地質観光マップ ⑭大宮段丘

常陸大宮市は河川によって形成された様々な地形が見られます。ここでは人々がどのような土地利用をしてきたかを探ってみましょう。

辰ノ口親水公園では河川の利用、山方御城では段丘の形成について見ていきます。また、市の中心を走る国道 293 号線は「紙街道」と言われ、江戸時代には和紙の輸送と紙商人で賑わっていました。その街道沿いのパワースポット、吉田八幡神社を巡り、最後に道の駅みわで特産品を見ながら、常陸大宮の魅力を発見してみましょう。

ポイント④ 道の駅みわ

ポイント③ 吉田八幡神社

ポイント② 山方御城

ポイント① 辰ノ口親水公園



三王山自然公園

至茂木

御前山

- 293 国道
- 39 県道
- P 駐車場
- トイレ
- ゴルフ場

各ポイントの詳しい説明を携帯サイトで紹介しています。QRコードの読み取り機能のある携帯電話で読み取って接続してみてください！

～各ポイント間の移動時間～ 車利用の場合

| | | |
|-------------------------|-----|-------------|
| 12分 | 20分 | 35分 |
| 常陸大宮駅 ⇒ ポイント① ⇒ ポイント② ⇒ | | |
| ⇒ ポイント③ ⇒ ポイント④ ⇒ 常陸大宮駅 | 2分 | 45分(293号経由) |

常陸大宮にある温泉の熱源は？
詳しくはこちら！

三王山の面白い地形！？
詳しくはこちら！

玉川で〇〇が採れる！？
詳しくはこちら！

鏡のような岩肌！？
詳しくはこちら！

永田茂衛門の最も苦労した場所！？
詳しくはポイント①QRコードへ！

ハンマー等は使用せずに観察してください

ポイント① 辰ノ口親水公園

ここでは水戸藩の三大江堰（えぜき）の一つである、辰ノ口江堰が見られます。17世紀半ば、水戸藩は新田開発として、川を堰き止めて水路を開く灌漑事業を行いました。その中で久慈川の辰ノ口、岩崎、那珂川の小場（おば）は全国的にも最大級の規模を誇ったと言われています。この開設に携わったのが鉱山技師の永田茂衛門親子でした。開設には鉱山開発の知識や技術、測量術が役立ちました。



辰ノ口江堰



もっと詳しく！

ポイント② 山方御城（やまがたみじょう）

山方御城は、舌状に出っ張った台地の南端に建てられています。台地は約1～2億年前の硬い地層から成り、削られにくいため、この地層では幅の狭い河岸段丘が形成されました。台地の下南側は、より新しい約1600万年前の地層が分布しており、こちらの方が削られやすいので、幅の広い河岸段丘が広がりました。



もっと詳しく！

ポイント③ 吉田八幡神社

旧美和村にある吉田八幡神社。ここにはたくさんの杉が生い茂っています。石段を上がると他の杉とは比べものにならないくらい大きな杉が左右に二本、社殿の手前にそびえ立っています。この二本の杉は茨城の天然記念物第2号として、昭和6年12月4日に指定されました。樹齢約800年と推定され、どちらの杉も樹高約40mあります。



もっと詳しく！

ポイント④ 道の駅みわ

道の駅みわ「みわ★ふるさと館 北斗星」は、美しい星空と豊かな自然を特徴とした道の駅です。地元の新鮮な野菜などの特産品や加工品を買うことができるので、お土産選びにお勧めです。また、ここの「満てんトイレ」はとてもユニークに作られています。ぜひ入って見てみましょう。（定休日：毎週月曜日）



もっと詳しく！

I 山方付近の河岸段丘～川の作った階段状地形～

水郡線山方宿駅付近から西へ丘を登ると、**下位段丘**から**中位段丘**、中位段丘から**上位段丘**へと高まる河岸段丘地形が観察できます。

山方宿は下位段丘面上を通る街道に沿う町で、この下位段丘は、下流では、平野の沖積層下に埋没し、現在の海底下に相当する2万年前の水河期の河口へ連続します。

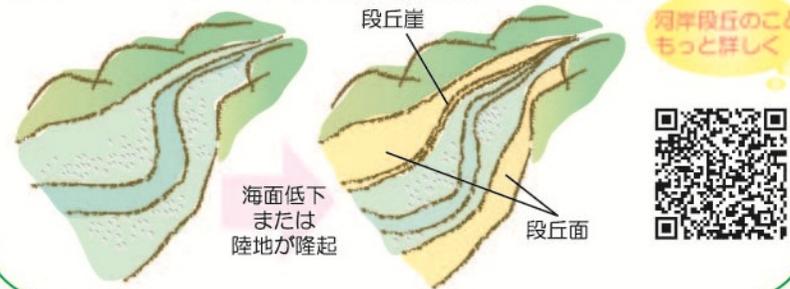
第三紀層地域である山方付近では、4万から8万年前に形成されたと推定される、幅の比較的広い3段の中位段丘面が観察されます。山方宿の中位段丘は、下流へ、常陸大宮の市街地が広がる段丘面に続き、上流へは館(やかた)から中舟生へと続いています。

中・古生層地域である中舟生では、段丘堆積物が斜面を移動してきた礫質堆積物に覆われ、緩い傾斜をもつ河岸段丘となります。



河岸段丘とは

河岸段丘とは、川の浸食・堆積、土地の隆起や第四紀の気候変化にともない形成される階段状地形です。一般に、川の運ぶ砂や礫からできており、その平坦な段丘面は、集落や畑、用水・溜池から水を引いた水田として利用され、段丘面上に町や市街地が発達する所もあります。



II 久隆川の谷～八溝の中・古生層を横断する谷～

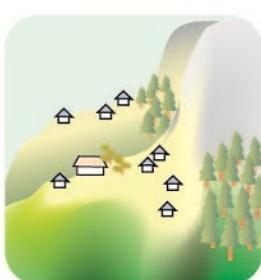
古くから金を産することで知られる久隆川は、久慈川本流に沿う盛金より鷲ノ子山塊中核部に位置する堂平(512m)へ、南東～北西に切り込む谷です。

久隆川は、北東～南西方向にのびた中・古生層の山地を直線的に横断して南東に流れています。両側の斜面からの山崩れ地形や低い河岸段丘がみられ、南向きの緩斜面や河岸段丘を利用した畑や漆畑など特有の山村風景がみられます。なお、最上流の久隆沢には、金鉱山跡が残っています。



III 地割～男体山火山角礫岩の崖下集落～

和紙で知られる西野内で久慈川に合流する諸沢川は、新第三紀の男体山火山角礫岩の急崖に水源をもちます。地割の集落は、この火山角礫岩の急崖直下に広がる新第三紀の地層の山地に位置します。ここでは、日当たりの良い尾根部を選んで集落が点在し、特有な山村景観がみられます。



なお、集落背後の森林の一部は県の自然環境保全地域に指定されており、近世、粉末化によってコンニャクの販路を広げた中島藤右衛門(1745-1826)「生誕之地」の碑があります。

駐車スペースは茨城県自然環境保全地域の説明板のある地点

用語解説
 礫(レキ) : 岩石や地層から、水や風などによって運ばれた直径2mm以上の岩片のこと。
 チャート : シリカ(二酸化ケイ素)に富んだ硬く緻密な堆積物・堆積岩の総称。

アクセス
 車: 常磐自動車道 那珂ICから国道118号道沿い
 鉄道: JR常磐線水戸駅でJR水郡線に乗り換え
 ■野上原駅→ポイント①まで5km徒歩60分
 ■山方宿駅→ポイント②まで1.4km徒歩17分

後援・協力(順不同・敬称略)
 茨城大学教育学部名誉教授 早川唯弘
 常陸大宮市
 常陸大宮市商工会
 常陸大宮市教育委員会



茨城県北ジオパーク推進協議会

お問い合わせ geopark@mx.ibaraki.ac.jp
 ホームページ http://www.ibaraki-geopark.com

製作協力 茨城大学 地質情報活用プロジェクト
 茨城大学の学生によるプロジェクトです